

学習について

1. はじめに

みなさんは、なぜ学習するのでしょうか。「将来の仕事に役立つ専門的な知識・技術を身に付けたいから」、「学校生活を楽しみたいから」、「高校に進学したいから」など、いろいろな目的があると思います。

中学校の3年間は心身ともに成長する大切な時期です。まずは、学校の授業を大切な学びの場として、しっかりと学習してほしいと思っています。さらに、家庭においては「学校の授業で学んだことを、より効果的に補強をする」ために、予習や復習を行いましょう。

2. 学習のきまり

藤岡中学校には、守るべき「学習のきまり」があります。心に留めておいてください。また、教室には授業を受ける心構えも掲示してありますので、実行するようにしましょう。

<学習のきまり>

- ・ 1分前入室、チャイムであいさつ
- ・ 忘れ物をしない
- ・ 私語をせず、しっかり話を聴く
- ・ 集中して真剣に取り組む



3. 家庭学習のすすめ

みなさんは、勉強したことをずっと覚えていることができますか。私たちにとって、覚えたことを忘れないでいるということは難しいことです。ある実験によると、1日たつと、覚えたことは半分以上忘れてしまうそうです。その日のうちに習ったことを復習すれば、忘れる量が少なくなり、何回も繰り返すことで、学んだことが身に付いてくるのです。学年が上がるにつれ、学習内容は難しくなります。「確かな学力」を身に付けるため、授業を効率よく進めるため、予習や復習を家庭でしましょう。

～家庭学習のポイント～

- ◎宿題：提出期限を守って、最優先で実施する。
- ◎自主学習：授業で扱った内容をもう一度確認する。→ノートの整理
単元プリント、ワーク等問題集の問題を繰り返し解く。
→質(内容)と量(時間)にこだわって、毎日取り組もう!

定期テストに関して

1. 定期テストとは

定期テストは、普段の授業で学習する内容が「どのくらい定着しているか」を自分で理解するためのものです。授業中や家庭学習での学習内容の理解が高いと、テストの得点も高くなります。そのため、毎日の授業、家庭学習を大切にし、学習の理解を深めていきましょう。

2. 定期テストの教科と日程について

- (1) 目的 指導内容や方法の改善および学習評価の材料とする
- (2) 実施回数 年 4 回(全学年 8 教科での実施 2 回、5 教科での実施 2 回)
- (3) 実施教科(下記参照)

第1回	5 教科	国語・社会・数学・理科・英語
第2回	8 教科	国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・技術家庭・英語
第3回	3 年 8 教科	国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・技術家庭・英語
	1, 2 年 5 教科	国語・社会・数学・理科・英語
第4回	3 年 5 教科	国語・社会・数学・理科・英語
	1, 2 年 8 教科	国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・技術家庭・英語

※ 2教科合同の組合せは、下記の通りとする。

技術(25点)・家庭科(25点) 後半 25 分間は自習(※美術科は試験を行わないため)
保健体育科(50点)+音楽科(50点)

【定期テスト計画】※ R8年 4月時点

実施日		1 学年				2 学年				3 学年				
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	
1 学期	1 回	6/24(水)	社会	国語	数学	/	理科	英語	社会	/	国語	数学	英語	/
		6/25(木)	英語	理科	/	/	国語	数学	/	/	理科	社会	/	/
2 学期	2 回	9/16(水)	国語	理科	技/家	社会	英語	音/保	国語	理科	社会	国語	技/家	英語
		9/17(木)	数学	英語	音/保	/	技/家	数学	社会	/	音/保	理科	数学	/
	3 回	11/25(水)	数学	英語	理科	/	英語	社会	国語	/	社会	音/保	理科	数学
		11/26(木)	国語	社会	/	/	理科	数学	/	/	技/家	国語	英語	/
3 学期	4 回	1/20(水)	実施しない							英語	国語	社会	/	
		1/21(木)	実施しない							理科	数学	/	/	
	2/9(火)	英語	数学	国語	技/家	数学	理科	音/保	社会	実施しない				
	2/10(水)	社会	音/保	理科	/	技/家	国語	英語	/	実施しない				

※ 原則として、テスト3日前から最終日までは部活動停止期間とする。

※ テスト2週間前に出題範囲を通知し、「学習計画表」を各自で作成する。

3. 定期テストにむけた学習計画

テストの2週間前に、各教科でテスト範囲を出し、一覧にして配布します。その際、テスト範囲の中で確実に学習が終了するように、計画を立てて学習しましょう。

例1：Aさん

2学期中間テスト 学習計画表
年 組 番 氏名()

努力目標	全教科80点以上とする!!				
国語	社会	数学	理科	英語	
目標点	85点	90点	100点	100点	80点
得点	点	点	点	点	点
学習計画					
日 曜	国語	社会	数学	理科	英語
19 木	漢字の意味	歴史のひ	7-7p22-28	7-7p22-9	7-7p22-44
20 金		7-7p24-25		7-7p28-31	7-7p28-33
21	7-7p26		7-7p22-23	7-7p22-23	7-7p24-25
22 日	習字	7-7p26-27		消化と吸収 細胞	英作文 Thematic, at 6
23	用字の活用	7-7p28	7-7p25, 27	7-7p24-27	7-7p24-27
24 火		①7-7p24-25	7-7p27, 28, 29	7-7p28-29	7-7p28-29
25 水	7-7p26	7-7p28-29 7-7p22-23	7-7p25	②7-7p22-25	
26 木	用字の活用	7-7p28-29 7-7p22-25	7-7p25-27	②7-7p22-25 7-7p22-25	7-7p22-25
27 金	習字の練習	7-7p28-29 ①7-7p22-25	7-7p25	③7-7p22-25	
28	7-7p26	7-7p28-29 ②7-7p22-25	7-7p25-27	④7-7p22-25	7-7p22-25
29 日	習字		7-7p25-27 7-7p25	消化と吸収	7-7p22-25
30 月		①7-7p22-25	7-7p25-27	⑤7-7p22-25 ⑥7-7p22-25	7-7p22-25
1 火	7-7p26 習字	ニュース	連立方程式 (5-4-2)	血管系、呼吸系	習字 7-7p22-25
2 水	習字 (漢字用字)	7-7p28	連立方程式	⑦7-7p22-25	習字 7-7p22-25
3 木			習字 7-7p22-25 習字 ⑧⑨⑩	習字 (7-7p22-25)	

◎良い点

- (1)ワークブックなどの問題にくり返し取り組んでいます。間違えた問題にもくり返し取り組むことで、つまずきやすいところでも解決できる力がつきます。
- (2)どの教科も偏ることなく、学習ができています。得意・不得意など、自分の学習の状態に合わせて、調整できると良いですね。
- (3)ワークのページ数まで記入してあります。今日は何をするのかハッキリしているため、帰宅後もすぐ学習に取りかかれます。終了したら斜線(/)で消すと、さらに分かりやすいですね。

例2：Bさん

2学期中間テスト 学習計画表

年 組 番 氏名(

努力目標		※ 上欄に予 ※ 1日の学				
漢字・文法・読解・記述 450点以上取る。		国語	社会	数学	理科	英語
目標点	90点	90点	95点	100点	90点	
得点						
学習計画	漢字	(1)P.147-149	(2)P.133	教科書	(1)教科書	(1)
日	曜	国語	社会	数学	理科	英語
19	木	漢字 漢字	① 205	7-7	呼吸器 呼吸器	7-7 ① 再読
20	金	漢字・文 漢字	pp. text.	7-7	呼. 循. 器. 呼.	7-7
21	土	漢字 漢字	① p	①	感覚器官 ① 整理と対策	7-7
22	日	漢字 漢字	text. com.		①	教科書 7-7
23	月	漢字 漢字	text. com. ①	整理と対策 整理と対策	神経 ①	① 入試問題
24	火	漢字 漢字	text. com. ①	①	①	①
25	水	漢字・文 漢字	①	①		① ② ① 単語
26	木		history			
27	金					
28	土	漢字 漢字	7-7	7-7	7-7	7-7
29	日	漢字 漢字	7-7	7-7 整理と対策	教科書 7-7	① 7-7 ①
30	月	漢字 漢字	7-7	① 中核	① 整理と対策	① 単語
1	火	漢字 漢字	7-7	① 3問3答	① 7-7	① 単語
2	水	漢字 漢字	① 3問3答			①
3	木			7-7 ① 7-7	7-7	

◎良い点

(1) 単元名などで区切ってあります。

計画を立てる時に、テスト範囲表と照らし合わせながら、範囲すべてを学習できるかどうかを確認できます。

この人は3年生なので、学校のワークだけでなく「整理と対策」などの問題集も活用していますね。

(2) ワークに取り組むだけでなく、漢字や英単語も繰り返し学習(反復学習)しています。

(3) 土日やテスト前の部活動休止の期間は、取り組む教科の数や学習時間を変えています。

時間が取れる時には、複数の教科を学習するようにすると、効率アップにつながりますね。

試験終了後は…

自分の学習への取組を振り返りましょう。
反省点や改善すべき点を、今後の学習へ生かしていきましょう。

